

「笑顔」と「希望」で元気なふるさとに

富貴中学校 二年 中川 優希斗

「Keep smiling with hope. 希望を持って明るく笑顔の絶えない学校に」これは、僕たちの中学校の生徒会目標です。「笑顔で希望を持って」という意味です。「笑顔」と「希望」を大切にしたいと思い、「二人」で力を合わせて考えました。僕が通う中学校の生徒は、「二人」です。だから、他の人と交流が少なく、さびしく思う時もありますが、何より、もう一人の友達と仲がよいので、楽しい学校生活を送っています。このように、本当に小さな学校だとも思いかもしれませんが、僕には、大きな「希望」があります。それは、大好きな町「富貴」を元気にすることです。

僕は、この春、一年生になり、生徒会会長になりました。僕が、会長に立候補した理由は、「富貴」は過疎化が進んでいて、「富貴」には、元気がないように思えるからです。そんな中、学校行事を通して、地域の方と触れ合う中で、「一緒にこの町を盛り上げられたらいいな」と思っていました。

僕達の中学校では、地域の方と、触れ合う機会がたくさんあります。その中で、「富貴」の良さを学ぶことができます。例えば、六月に、「ちまき作り」があります。地域の方々にもお手伝いしていただき、僕達と一緒に造ります。また、その作ったちまきを、八十歳以上の一人暮らしの方々に配ります。地域の方々から、「ありがとう。」や「いつもうれしいわ。」などと声をかけていただくと、僕達はがんばって作ってよかったなと思います。

また、六月の中間テストが終わった後には、「ピカピカ作戦」をします。富貴中学校の通学路を歩き、落ちているごみを拾います。拾っている途中、地域の方々にも会ったりするので、「こんにちは。」と話しかけると、「こんにちは。」と笑顔で返してくれたりします。そんな時、僕は、改めて、挨拶の大切さを実感します。他には、「汗運動」もします。『汗運動』とは、神社に落ちているごみや葉っぱを掃除することです。

夏休み中の「平和学習」は、八十歳以上の方に、戦争時の体験を聞かせていただきます。戦争の悲しさや辛さを学ぶことができます。さらに、福祉センターボランティア活動も体験します。そこでは、お年寄りの方に、色々なことをお手伝いさせていただきます。僕達が行くだけで、お年寄りの方は、「笑顔」になるのを見ると、できるだけ、触れ合いを大切にしたいと思います。

秋の運動会では、僕達二人が紅白にわかれて、地域の方々にも入っていただきます。運動会は地域の方々で盛り上がる行事です。

このように、富貴中学校の行事は、地域の方々で触れ合うことが、たくさんあります。だから、生徒会活動を通して、これまで先輩方がやってこられたことを大切にしながら、さらに、工夫をこらして行事を計画していきたいと思っています。また、地域を盛り上げたり、お年寄りとの触れ合いの行事も多くしていきたいです。

僕は、まず、初めに、取り組んでいこうと思っているのは、「挨拶運動」です。なぜなら、これまでの地域の方々との交流を通して、「挨拶」から元気をもらうことがたくさんあったからです。また、僕が、朝早く学校に来ると、校長先生が、もみの木坂の下で立っていてくれ、「おはようございます。」といつも迎えてくれます。それで、僕は、「一日、がんばるぞ。」という気持ちになります。

だから、「挨拶」を通して、「おはようございます。」と大きな声で言うと、学校も、そして地域も元気になると思います。

「Keep smiling with hope.」

僕の大きな希望―それは、元気あふれる学校に、そして、ふるさと「富貴」にすることです。